

上野の山便り 平成30年 10月

いつしか日が短くなり、夕焼けが美しく、秋らしさが感じられる季節です。上野の山の木々も衣替えです。残暑を惜しむように鳴いていた蝉たちもスズムシやコオロギに主役を譲ります。いかがお過ごしでしょうか。

子供たちの健やかな成長のための教育に「食育」があります。人は食べなければ生きていけませんし、どのような食べ物を摂るかによって、身体の成長や健康にも、大きな影響がでてきます。

昔は「米という字は八十八と書くだろう。お百姓さんが八十八回も手間をかけて作ってくれたものだから、ご飯は残さないように食べなさい」と、教えてくれる大人たちがいました。礼儀作法などとともに、一家団らんの中で食育がなされていました。今では都会でも田舎でも、日常的な生活の中で、子供たちが土と触れ合う機会は少なくなりましたが、大切な食糧を作ってくれる土に、子供たちが触れる機会を、もっと増やしてあげる必要があるのではないのでしょうか。このような土に触れることも、重要な食育の一部であると思います。

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、まさしく季節の変わり目です。くれぐれもご自愛ください。

東京国立博物館平成館・東京国立博物館・フィラデルフィア美術館交流企画特別展

「マルセル・デュシャンと日本美術展」 10/2～12/9

フィラデルフィアからデュシャンがやってくる

国立西洋美術館・「ルーベンス展—バロックの誕生」 10/16～1/20

古代美術やルネサンス美術が栄えたイタリアとの出会いと帰郷

国立科学博物館・特別展「昆虫」 ～10/8

生態、多様性、機能など幅広い視点から魅力に迫る

東京藝術大学大学美術館・「藝大コレクション展 2018」 10/2～11/11

コレクションを代表する銘品に加えて下図やスケッチ、関連作と、完成作品とを並べて展示

東京都美術館・特別展「没後50年 藤田嗣治展」 ～10/8

前後期で作品100点以上を展示し画業を紹介

上野の森美術館・「フェルメール展」 10/5～2/3

「光の魔術師」とも称されるフェルメールのわずか35点とされる現存作品のうち8点を展示

国際子ども図書館・「青い鳥」創刊100年—誌面を彩った作品と画家たち 前期 ～11/11

東京文化会館大ホール・創遊・落語“夜”らいぶV.1.44 桂 歌春（落語）ほか 10/9 19:00

特別展「マルセル・デュシャンと日本美術展」

東京国立博物館平成館で10月2日から12月9日まで開催されます。マルセル・デュシャン（1887～1968）は、伝統的な西洋美術の価値観を大きく揺るがし、20世紀の美術に衝撃的な影響を与えた作家です。

この展覧会は、第1部「デュシャン 人と作品」（原題：The Essential Duchamp）展と第2部「デュシャンの向こうに日本がみえる」展の2部構成です。第1部では、フィラデルフィア美術館が所蔵するデュシャンによる油彩画、レディメイドおよび写真や関係資料、さらに東京大学駒場博物館の【大ガラス】の複製など、計150余点を時系列で紹介、デュシャンの創作活動の足跡をご覧ください。第2部では、当館蔵の国宝、重要文化財を含む日本美術作品により、もともと西洋とは異なった社会環境のなかで作られた日本の美術の意味や価値観を浮かび上がらせることによって、日本の美の楽しみ方を新たに提案しようとする企画です。世界に冠たるフィラデルフィア美術館のデュシャン・コレクションがまとまって出品される初めての機会であるとともに、それらを日本美術と比べて見ていただく世界で初めての試みとなります。この展覧会では「美術」を見るのではなく「考える」ことで、さまざまな知的興奮を呼び起こしてください。

上野の山 散歩人 平木巖